



本ばこ

ほん

一新刊教材・図書紹介一
しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

非漢字圏初級学習者の視点で作られた
ストーリーで覚える漢字 300

～英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版～
～英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語版～



著者：ボイクマン総子、渡辺陽子、倉持和菜 監修：高橋秀雄 出版社：株式会社くろしお出版

〈英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版〉 URL: <http://www.9640.jp>

発行年月：2008年11月 ISBN: 978-4-87424-428-9 判型・頁数：B5判、316頁 定価：1,890円

〈英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語版〉 URL: <http://www.9640.jp>

発行年月：2008年1月 ISBN: 978-4-87424-402-9 判型・頁数：B5判、344頁 定価：1,890円

非漢字圏の初級学習者に漢字を教える際、「山」「川」といった象形文字から導入することが多いと思います。視覚的イメージを通して漢字に親しみを持ってもらうにはいい方法なのですが、すぐにネタがつかってしまうという話にもよく聞きます。実際、漢字の中で象形文字の割合は多くありません。本書には、そんな悩みを解決するヒントがあるかもしれません。

▽まず、漢字の意味を覚える

本書は、300字の初級漢字について、独自の解釈によるイラストとストーリーが書かれています。それは、もともとの漢字の由来とは違うものもあります。構成は2部に分かれていて、まず150字の字形と意味を覚えて、その後で読み方と書き方を覚えるようになっていきます。日本人にとって、漢字の読み方を後で覚えるというのはちょっと驚きの発想ですが、非漢字圏の学習者にとって、一つの漢字を覚えるときに、字形を認識し、意味、読み方、書き方を同時に学習するというのは確かに大きな負担でしょう。読み方は多数あるので、なおさらです。

▽学習者の負担を考慮した段階的な学習

効果的に学習するために、この本では、段階的な学習の流れが考えてあります。①漢字の意味をイラストやストーリーで覚えた後、②字形の組み合わせで新たな漢字の意味が推測できるように、③またその漢字を使用した語彙の意味も推測できる力を養い、④最後に読み方と書き方を覚えます。

例えば、①「主」という字をろうそくに見立て、「昔、ろうそくが使えたのは主人だった」というストーリーがあり、②「ろうそくに水を注いで火を消す…注」という次のストーリーにつながり、③練習問題で「注意」の意味を推測させた後、④読み方と書き方を覚えるという具合です。

また、扱っている漢字熟語で、日本語能力試験3級4級の語彙がほとんどカバーできるということです。

▽楽しんで使い方を工夫できる

この教材の特徴である、漢字の意味を覚えるためのストーリーは、字源とは違うものもあり、無理な解釈だなあと思うものもあります。でも、それがかえって印象に残る場合もあります。もしそのストーリーに馴染めない場合は、学習者自身が漢字を分解して独自のイメージを作ればよいのではないのでしょうか。それを楽しむことができれば、未習の漢字に出会った時、推測する力でも乗り切れるかもしれません。

独学用として、またクラスで漢字指導の時間を割くことができない場合に、本書を使って自習させ、クラスで簡単なクイズを行うなど、使い方も目的に合わせて工夫できるように作られています。



p.123